

価値ある歴史を未来へつなぐ

伊仙町誌

便り

2022年12月

vol.

03



(昭和30年代頃の鹿浦集落の様子)

伊仙町誌編纂審議会・6つの部会が一巡

【先史・原史時代部会】

伊仙町は遺跡調査の実績が多く、各時期を代表する国指定レベルの遺跡も多い。それを町誌へ表現しこの時代の人々の様子を記述。

【民俗部会】

年中行事、人生儀礼等は社会が変わっても続く。それを過去から現在まで記録。地元専門員の協力も必要。

【琉球王朝・薩摩藩時代部会】

琉球王朝時代の島のありかたを少しでも解明し、薩摩藩による支配というイメージを脱却することで当時の庶民の暮らしを表現。前近代社会の文化形成に光を当て、島の歴史への誇りに繋げる。

【自然史部会】

世界自然遺産登録までに18年掛かり、その国際的議論の積み重ねを反映。「環境文化型」概念は新しく、慎重に扱う。

【近現代部会】

伊仙町視点で書けるテーマを選ぶ。地域に生きた人々の視点を軸に、個人の自分史も聞き取り後世に残す。

【デジタルアーカイブ部会】

町誌編纂事業完了後も住民の方から情報を寄せて頂き、それをネット上で更新できる仕掛け作りを行う。

集落調査始まっています

各部会のテーマに沿って、伊仙町での現地調査が始まりました。各集落の区長さんには事前にその旨お伝えし、集落の暮らしや成り立ち、自然環境をよく知る方へ、聞き取り調査をお願いする予定です。またこれまで、主に大学研究者によって各地域で行われてきた考古、言語、自然、民俗などの調査研究資料も、町誌編纂至で収集しています。それらを集落毎に分けて、今後聞き取りさせて頂く内容と合わせて、将来は全ての集落へ全情報をお渡しする予定です。将来、伊仙町誌編纂事業が終了した後も、それらの資料を基に集落誌作成などに繋げて頂きたいと考えています。

(民俗部会による聞き取りの様子)
上…馬根集落 下…西犬田布集落



第二回町誌編纂審議会

令和四年十一月八日、第二回目の「伊仙町誌編纂審議会」を開催し、七名の研究者と四名ずつの地元有識者、行政代表者により、闊達な意見交換がなされました。

審議会内では主に、「伊仙町誌編纂基本計画」「同事業計画」「事業経費」「各部会の進捗状況」について話し合わせ、今後の伊仙町誌編纂事業の方向性について議論されました。論点として左記が挙げられます。

- 基本計画などに書かれたカタカナ表現は日本語に置き換えるように
- 考古学の調査結果を自然史へ、民俗学からのデータや記録をデジタルアーカイブへ、など部会を越えて成果を共有する
- 世界自然遺産推薦書に既にある生物データや過去の新聞、行政文書などを整理、文字化する人材も必要
- 出来上がったものがそこで終わりではなく、そのあとも活用されるような工夫が必要
- 特に歴史民俗資料館ホームページと連動して、伊仙町の教育文化を発信する基地を作る、というイメージで

今後の予定・ご協力依頼

町誌編纂に当たり、引き続き伊仙町、徳之島、奄美群島、琉球、薩摩にまつわる様々なジャンルの資料を集めています。

もしお手元に左記の資料(冊子・新聞・発刊物・写真・音声データ・映像など)があり、参考資料としてお借り、またはこの機会に寄贈して頂けるものがあれば、ご一報ください。

特に街並みの風景や人々の様子が写っているものを探しています。

(☎0997・86・4183)

- ・文化 ・町政
- ・島口 ・地図
- ・人物 ・民具
- ・歴史 ・産業
- ・鳥唄 ・食
- ・選挙 ・闘牛

町誌編纂専門員として次の方々にご協力頂いています。今後各集落へ出向く際には宜しく願います。

- 四本延宏さん
- 常加奈子さん
- 松田りえ子さん

伊仙町誌 便り vol.03

鹿児島県大島郡伊仙町伊仙2945-3
伊仙町歴史民俗資料館1階
TEL:0997-86-4183 FAX:0997-86-4184
Email:rekiminkan01@t1.tokunoshima.net